



前田 芙美子 議員

直営診療施設 八開診療所に問う

質問

直営診療施設の八開診療所は、昭和27年開設で60年近く地域の皆さんに愛され、利用されてきた。これからも続けてほしいが、近年の経営状態はどうか。

市民生活部長 昨年の国保運営協議会の決算報告を見ると、診療収入が約1億1千万円、支出が約1億4千万円で差額の3千万円は基金を取りくずしている。診療所の運営内容は、経費節減の取り組みはどうか。

市民生活部長

合併後の実質単年度収支

市民生活部長 市民生活部長 八開診療所は、平成17年度を除いてずっとマイナスという状況になっている。

質問

赤字を抑えるには経費節減であるが、固定経費の建物や医療機器はどうか。

市民生活部長

八開村が購入し返済はない。機器は全て買い取りである。

質問

人件費は、高過ぎないか。

市民生活部長

医師は行政職とは別の俸給表で合致しているし、ほかの職員は相応の経歴によって給与が定められている。

質問

薬剤費はどうか。後発品(ジェネリック)の使用割合は。

市民生活部長

全体の10%程度である。

質問

それは少なくないか。後発品は安くて患者さんにも喜ば

れるし、利益もあるはずだ。いろいろな点を見直して赤字を解消し、長く市民に利用してもらおう診療所を目指してもらいたいが。

市民生活部長

国保の診療所としての任務、診療を行い、疾病予防や健康保持増進に寄与できるように進めていきたい。

紙おむつを焼却からリサイクルに

質問

赤ちゃんや高齢者の使う紙おむつは、燃えるゴミとして分別されている。焼却するだけでなくリサイクルできないか。再生パルプが建築資材に、ビニールが固形燃料に、汚泥や排パルプが土壌改良材に生まれ変わるがどう思うか。

市民生活部長

リサイクルができるのは資源を確保するという意味ではないことだが、リサイクル施設もないのでいい事だという感想である。

質問

紙おむつ処理を焼却からリ

サイクルに変えることで、地球温暖化の原因となるCO₂の排出を4割減らせる。使用済みの紙おむつは国内全体で約90%が焼却されている。リサイクル施設ができれば是非検討していただきたい。

市民生活部長

現時点としては取り組みは素晴らしいという感想はない。



八開診療所